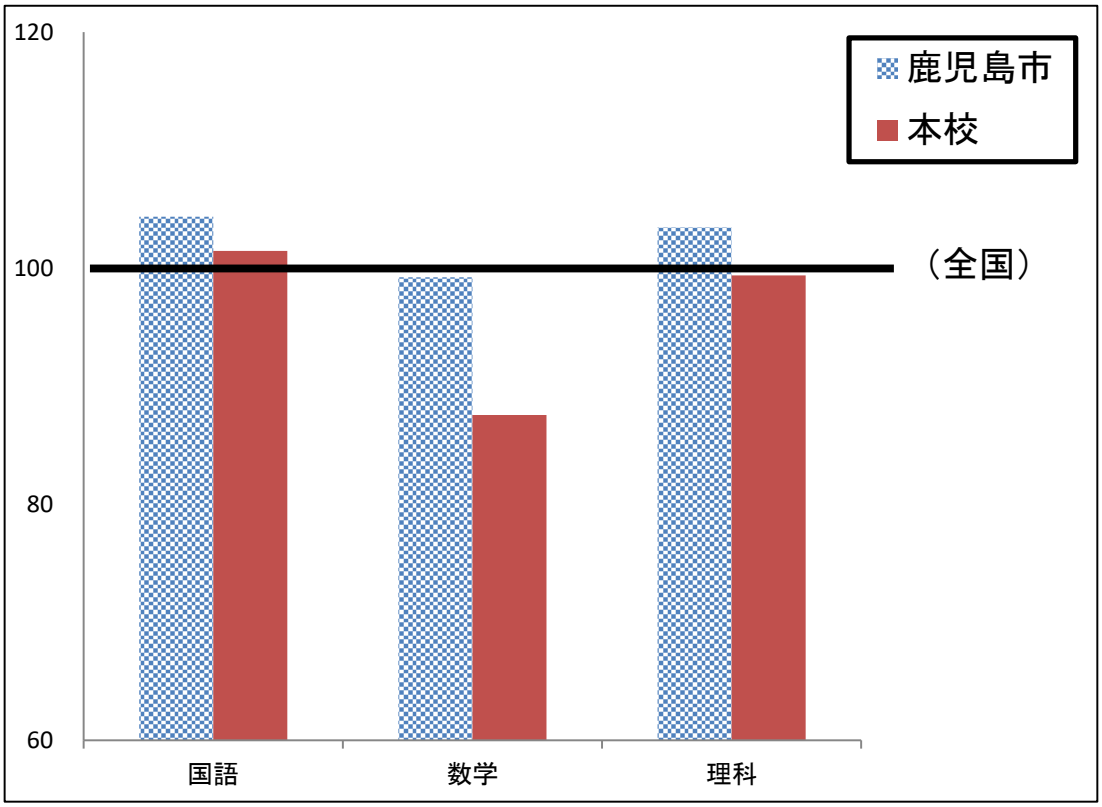
令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

福平中学校

４月に行った全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。3年生を対象に毎年行われている調査です。今年度は国語，数学，理科の3教科で行われました。本校の正答率は，国語が全国の基準を上回っていますが，数学，理科が全国の基準を下回っています。この調査結果だけで生徒の学力を判断することは適切ではありませんが，この調査結果をこれからの教科指導の充実や学習状況の改善，家庭との連携等に役立てて参りたいと思います。

１　自校・市・全国の平均正答率の比較

〈　全国平均正答率を100とする棒グラフ　〉



２　自校の課題に対する改善策

〈国語〉

話すこと・聞くこと及び読むことについては、全国を上回るものの、書くことについて課題が残りました。また，記述式の問題になると無回答率が上がっていたため，年間を通して、ノートや生活の記録等に自分の考えを書くことについて継続して取り組んでまいります。

〈数学〉

数と式，関数の領域の通過率が低く，知識理解を必要とする問題や筋道を立てて解く問題に対して課題が残りました。基礎基本の学習を繰り返しながら，それを活用できる学習の工夫に取り組んでまいります。

〈理科〉

日常生活における自然の事物・現象を科学的に捉え思考し，説明することに課題がありました。日常生活での身近な事物・現象を理科学習と関連付けた内容を授業に積極的に取り入れることで，学習したことを生活の場面結びつけて考えることを繰り返すなどの指導の工夫を図っていきます。

〈全体的に〉

生徒質問紙の結果より，本校の生徒は将来の目標や社会での役割についてしっかり考えている生徒が多くいることがわかります。一方で先生や友人との関わりの中での学びに消極的で苦手意識のある生徒が多いことに課題が見られました。学校では，授業等での取り組みを工夫し，改善していきたいと思います。また，携帯電話・スマートフォン等の利用については，ご家庭での協力と見届けをお願いします。